

オホーツク「木」のフェスティバルに参加

(研究協力課・社会連携推進センター)

5月22日（金）から3日間、サンライフ北見をメイン会場に開催された第30回2015オホーツク「木」のフェスティバルに、マネジメント工学コースの学生を中心に参加しました。

本フェスティバルは、オホーツク地域の林業・林産業の振興を目的に、オホーツク圏が誇る木の工芸品、食器、家具からログハウス、木材まで、木に関連する製品や技術などを全国に向けアピールする展示・販売・情報発信イベントです。同時に、木のぬくもりや優しさを伝え、訪れる人に森林への関心を高めてもらう環境意識醸成の場としても大きな役割を果たしています。

本学からの参加として、今年も子供を対象とした「木と遊ぼう」のコーナーを開催しました。今回は「絵馬を作ろう」をテーマに、関係団体から端材やのこぎりを調達し、子供と一緒に絵馬を作りました。子供たちにのこぎりの使い方などを教えながら、学生自身も様々なことを学んだ様子でした。

また、ポスター展示として、地域の特色を色濃く反映したスキーツーツやカーリング技術、南極氷床ボーリング技術、海氷、雪氷などに関する本学での研究を紹介し、広く大学の広報を行いました。

これからも、地域におけるイベントへの貢献、大学広報を積極的に進めていきます。



木工体験をする参加者たち



参加者が作ったさまざまな絵馬